

- 第11回研修会開催報告 ..... 1
- 第12回研修会 案内 ..... 2
- 漢字教育サポーター育成事業  
第4期 (Web講座)受講者募集 ... 3
- 漢字興起～巷に生きる漢字あれこれ～ ... 4
- 書籍紹介 ..... 6
- 漢字同好会からのお知らせ ..... 7
- お知らせ 投稿募集 ..... 8

## 第11回

# 会員向け研修会 開催報告

古来、この列島には話し言葉としての日本語は存在しましたが、これを記すための文字はなかったと言われています。つまり私達の祖先は、固有の文字を生み出す前に漢字の影響を受け、漢字を輸入するところから文字生活を始めたのです。本日は、中国生まれの漢字が日本に受容される中でどのような変化を遂げてきたのか、その端をご紹介してみたいと思います。

日本に初めて漢字が伝わったのは一世紀の金印「漢委奴国王」であると言われています。また、日本語を記した最古の文献の一つである『魏志倭人伝』では、日本語の固有名詞「ひみこ」が、漢字の発音を借りた、いわゆる仮借の用法で「卑弥呼」と表記されています。しかしこれらは中国で書かれたものなので、日本に漢字が伝わっていたという証拠にはなりますが、日本人が漢字を使っていたという証拠にはなりません。五世紀の資料である『稻荷山古墳鉄劍銘』(四七一年)に「わかつける」という日本語の固有名詞が漢字で記されていることから、ようやくこの頃には漢字を読み書きできるようになったものと思われます。

日本最古の歴史書である『古事記』は、漢字だけで書かれていますが、表記の仕方にある工夫が見られます。

日本語話者に伝えるための日本化した漢文、すなわち和化漢文で書く方式(図中A)と、当て字(仮借)、いわゆる万葉仮名で書く方式(図中B)がこの書物では取り交ぜられています。

『古事記』における漢字表記の違い

思<sup>フ</sup>國<sup>ノ</sup>以<sup>フ</sup>歌<sup>フ</sup>日<sup>・</sup> ..... ① 和化漢文  
『國<sup>ヲ</sup>思<sup>ヒ</sup>て歌<sup>ヒ</sup>たまひて曰<sup>ク</sup>』  
讀<sup>フ</sup>おそれがある。  
夜麻登波 久爾能麻本呂婆 : ② 万葉仮名  
[やまとは くにのまほろば]

9月21日(日)に名古屋市のIMY会議室において、第11回「会員向け研修会」を開催しました。白百合女子大学文学部国語国文学科教授の山本真吾先生による講演に、56名の方がご参加くださいました。

## 講演の部

### 要旨

## 中国の漢字・漢文から 日本の漢字・漢文へ

白百合女子大学文学部国語国文学科

教授 山本 真吾 先生



撰録者の太安万侶はこの二種類の表記法を巧みに使い分けました。歴史的叙述の箇所には、コンパクトに多くの情報を詰め込める和化漢文方式を、固有名詞や歌のように「一言」一句を正確に伝えるべき箇所には、多少長くなつても万葉仮名を用いました。

この和化漢文は漢字の多義性に制限を加えて用いたため、読みやすいと言われています(小林芳規先生は「訓漢字」と呼称されています)。たとえば、中国古典(漢文)ではいずれも使役の助動詞「しむ」の意味を持つている漢字「令」「遣」「使」も、「古事記」では、「令」がもっぱらこれを担い、「遣」は動詞「遣わす」、「使」は名詞「使い」というように、それぞれの漢字は一つの意味で用いることによって、漢字を文脈によって読み分ける負担を少なくしているのです。なお、後者の万葉仮名の方は、平安時代になると、より速く、楽に書けるようという発想から、漢字を崩した平仮名、漢字の一部を採った片仮名が誕生することになります。

さて、私は日本が漢字・漢文を受容していく原初の状況をもつとダイナミックに解明したいと思い、仏教法会の場において願い事を伝える「願文」というジャンルの文献群に注目しています。中国、日本及び朝鮮半島に具体的な資料が存在し、相互比較を行うのに適していると思われるからです。特に、敦煌莫高窟で発見された敦煌願文は貴重な古写本で、主として大英図書館とフランス国立図書館に収蔵されています。資料の内容だけではいつの時代のものなのか判断できないことが多いので、できるだけ現物を見に行くようにしています。調書の記録には鉛筆を用いるなど、所蔵機関のルールに従いながら慎重に調べます。紙の長さ、紙質(織維)、漢字の字体なども時代を推定する大きな手がかりとなります。

このようにして敦煌願文の書写年代を推定し、日本の古写本と比較します。日本の願文は当初は対句を基本とする四六駢體文でしたのが、次第に文が長くなり、補助動詞を入れるなど和化漢文的因素が増え、最後には平仮名書きになりました。

さて、先の和化漢文は仮名が成立した平安時代以降にも継続して用いられます。男性貴族の日記は基本的にこの文体で書かれ、「御堂閑白記」もその一つです。藤原道長の自筆本では、息子顕信が突然出家した際の記事に平仮名が交じっていて、文体もひどく乱れています。摂関政治の黄金時代を築き、その豪胆さ、勇壮さで知られる道長も、この出来事はよほどショックだったのでしょうか。しかしこの仮名書きは孫の代には漢文体に改められてしまっています。このように、現物の書きぶりを詳しく観察することによって、筆者の思いがけない性格まで伺い知ることができます。

聴  
講  
者  
・  
発  
表  
者  
募  
集

第12回 漢検生涯学習ネットワーク  
会員向け研修会



- 日 時 ● 平成26年12月21日(日)  
13時30分～16時30分(13時00分 受付開始)
- 場 所 ● 日本青年館ホテル 国際ホール(東京都新宿区霞ヶ丘町7番1号)
- ア ク セ ス ● JR:中央・総武線千駄ヶ谷駅もしくは信濃町駅から徒歩9分  
地下鉄:銀座線外苑前駅もしくは大江戸線国立競技場駅から徒歩7分
- 参 加 費 ● 無料
- プロ グ ラ ム ● 講演 阿辻 哲次氏  
(京都大学大学院人間・環境学研究科教授／当協会評議員)  
テーマ『おとなのための漢字学』

プロフィール

1951年大阪府生まれ。1980年京都大学大学院文学研究科博士後期課程修了。専門は中国文化史、中国文字学。人間が何を使って、どのような素材の上に、どのような内容の文章を書いてきたか、その文化的営為の歩みを漢字文化の流れという観点から、中国と日本を舞台に考察する。

第22期国語審議会委員として「表外漢字字体表」の作成に、また文化審議会国語分科会漢字小委員会委員として、常用漢字表の改定に、法制審議会委員として人名用漢字追加の審議などに携わる。著書に「戦後日本漢字史」(新潮選書)「漢字道楽」(講談社学術文庫)「漢字のはなし」(岩波ジュニア新書)など多数。

講演概要

漢字はそれぞれの文字に固有の意味がある。そのことを逆にいいうならば、漢字はそれぞれ特定の事物や概念を表すために作られた、ということになる。この事物や概念は、人が暮らす社会にはいわば無数に存在し、それらははじめ口から発せられる音声で表現されていたのだが、やがてそれを文字で表記する必要が生じてきた。その時に、アルファベットや仮名のような表音文字を使う環境だったら、たかだか数十種の文字の組みあわせによって、すべての事物や概念を表すことができる。しかし表意文字である漢字ではそうはいかず、それぞれの事物や概念を指示するために個別の文字が作られることになった。

この人を取り巻く事物や概念は、日常的な道具にはじまり、さらには文化・芸術・政治・軍事など、実に多種多様のジャンルにわたり、その中には当然のこととして、男女の性器や性行為なども含まれていた。だからそれらを表す漢字も、比較的早い時期に実際にいくつか作られたのだが、それが表す意味がかなり特殊であるだけに、それらの漢字は字書や文献にはめったに現れなかった。今回は通常の漢字関係の書物にはなかなか取りあげられない漢字について考えてみたい。

会員発表 1名(発表は1人30分以内)

※会員発表後に、簡単な交流会を予定しています。

聴講者定員 ● 220名

参加申込方法 ● 以下のいずれかの方法でお申し込みください。

FAX・郵送…同封の「第12回会員向け研修会 申込用紙」(挨拶文裏面)に必要事項を記入の上お送りください。

Eメール…申込用紙の必要事項(氏名・電話番号・会員番号・住所(送付先に変更がある場合のみ))をメール本文に記載してお送りください。

※応募多数の場合は抽選となりますのでご了承ください。

※参加の可否については12月中旬までに郵便もしくはEメールにてお知らせします。

申込締切日 ● 平成26年12月8日(月)(協会必着)

研修会にてご自身の研究を発表される会員を募集します!

ご自身の日ごろの漢字学習・研究の成果を発表しませんか?(発表時間は30分以内です。)

発表希望者は、同封の「第12回会員向け研修会 申込用紙」の発表希望者の項目にチェックし、発表したい内容の要旨(A4用紙1枚以内)を添付してFAXもしくは郵送でお送りください。Eメールによるお申し込みの場合は、要旨を添付ファイルでお送りください。希望者多数の場合はこちらで選考させていただき、その結果は12月中旬までにお知らせします。

# 第4期（Web講座）受講者募集

## あなたも漢字の知識や面白さを伝える「漢字教育サポーター」になりませんか？

「漢字教育サポーター育成事業」とは、地域での漢字教育を推進するために、より専門的な漢字の知識を持った指導者を育成するものです。立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所の協力のもと、WEBを用いた全80回の通信講座を配信します。修了者には「漢字教育サポーター」として、学校や地域団体などから講師（有償・無償）や教育ボランティア等の要望があった際には協力ををお願いすることになります。

漢検で培った漢字の知識をさらに深め、その魅力を広く、いろいろな方へ伝えていませんか？応募締め切り日は平成26年12月19日（金）です。詳細は同封の募集要項をご覧ください。

## 漢字教育サポーター育成講座を受講して

■ 小田部洋平さん（第二期修了）

Q. サポーター講座を受講しようと思ったきっかけを教えて下さい。

小.. 私は中学生対象の塾講師ですが、漢字について質問を受け

ても、その成り立ちなど細かいことには答えられませんでした。「漢字の知識はあるのに上手く活かせていない」という現状に歯がゆさを感じ、この際徹底的に勉強しようと思いつき、講座受講を決めました。



（右から）小田部さん、北條さん、池田さん、中村さん、渡邊さん

Q. 漢字教育サポーターになつたらどのような活動をしたいですか？

小.. 講座で得た漢字の知識をまとめて資料を作りたいと思っています。あとはやはり塾での指導に活かしたいですね。子どもの多くは漢字が嫌い。そもそも書くことから苦手意識を持っている子もいます。それでも、漢字の成り立ちなどを話すと興味を持ってくれます。

北.. そういう話を聞くだけで、書かなくても印象に残りますからね。この漢字には、こういう理由からこういうパーツがついているんだと腑に落ちるというか。「書く」以外の観点から漢字を見ると面白い、たくさん覚えられますよね。

Q. すでに北條さんは漢字のオフ会を開いているとのことです。

北.. はい、漢字好きの人脈を広げたいと思い、クイズやゲームを盛り込んだ漢字の交流会を定期的に開いています。参加者は意外と理系の方が多いです。凝り性でのめり込む理系の性格って、漢字を深く学ぶということにも合うのかも。漢字は文系や理系という壁を越えて楽しめます。

北.. 講座はパートごとに特色があります。私は最後の白川文字学が一番楽しく、一気に見終えてしまいました。WEB講座ですが、まるで実際に授業を受けているような臨場感がありました。



漢字サイコロを使って遊んでいる交流会の参加者。

第7回

# 漢感興起

かんかんこうき



さまざまな立場を通して感じる、またそれぞれの角度から観ると、漢字の姿は一様ではないようです。このコナードでは、漢字や日本語に特別な想いを抱きながらお仕事をされている方を取り上げ、その人ならではの「漢字模様」について伺います。

今回は、ユーモアセラピスト／遊墨漫画家の南久美子さん。漢字を題材とした絵をはじめ、人々を癒やす作品を生み出しています。ご自身のアトリエ「ぼつ」でお話を伺いました。

〔観感興起〕…目で見、心に感じ、感動して奮起すること。  
（漢検四字熟語辞典より）

（巷に生きる漢字あれこれ）

——アトリエにはとても素敵なお絵がたくさんですね。

最初からこういう絵を描いていたわけではなくて、大学時代はデザイナー志望でした。でも私の担任の先生が漫画家でいらっしゃって、卒業間際に新聞の四コマ漫画のお仕事を紹介してくださったことがきっかけで、いつのまにか漫画家になっていたんです（笑）。

——まさか漫画家からのスタートだったとは。

今は主に額縁を描いていますが、今でも「二コマ漫画」の気持ちで描いています。四コマ漫画って、起承転結で成り立っています。そのように、一つの絵の中にオチまで入れることを大切にしています。ですので、本来はイラストレーターと名乗るべきなのかもしれません、「遊墨漫画家」として活動しています。

——額縁を描き始めたきっかけは何だったのですか？

もともと漫画家に憧れていたわけではなかったので、お仕事を始めた当初はこのままいいのかと悶々としていました。でもあるとき新聞記事に「笑いが癌を制する」という見出しを見つけ、衝撃を受けました。その時私の父が癌で闘病中だったこともあり、自分が何のために笑いの絵を描いていたのか、答えがそこにあったように感じたのです。それからは大好きな和紙と墨で、大人が見てもクスッと笑えるような絵と言葉を描き始めました。直接言うのは照れくさい感謝や慰めの言葉も、犬や猫が話しているようなポストカードであれば、受け取る側も素直に受け入れてくれるんですよね。自分の画風を見つけてから、全てを私の描きたいまま、自由に表現できるようになりました。

——漢字を描くようになったのは？

学校で漫画の勉強をしていなかつたので、ストーリーの作り方、キャラクターの動かし方など、基本的なことができていなかつたのです。そこで「漢字を擬人化する」ということを思いつきました。たとえば「醉」という漢字を題材にしたこの作品ですが、酔っぱらいの本当の男の人の絵を描くと、見る人にそのイメージだけを与えてしますよね。でもこうやって漢字に手や足を加えただけの絵にすると、性別も年齢も分からず、見る人の感性で自由に捉えることができる。ある人は自分のお父さんの酔っぱらった姿を思い浮かべ、ある人は自分自身を重ねて面白く感じてもらえる。目や鼻を描いて細かくキャラクター化することをせずに、見る人の感性が入り込む余地を残しておく方が、かえってユーモアがストレートに伝わるんですね。あ、こういう表現方法もあるのかって、漢字を描き始めてから気付きました。



——見る人個々人が持つているイメージを最大限に活かすことのできる表現方法ですね。

小説が映画化する時など「えっ、なんでこの人が主人公!?」ってがつかりすることがありますか？あれは文章を読んで自分が作り出していた主人公像と、実際の配役のイメージが違うことへの違和感だと思います。落語が面白いのも、お話だけで聴く人を自由に想像させ、「お仕着せではないその人の笑い」に変えているから。受け取り手が想像力を働かせながら鑑賞できるよう、余裕、行間を残しておかないと窮屈さだけが残る気がします。

——それにしても見事なまでに漢字が擬人化されています  
が、南様には漢字がどのように見えているのでしょうか?  
じつと辞書を見つめていると、向こうから飛び込んで  
きてくれる漢字があるんです。「ここが手よ!」「ここが足  
よ!」と話しかけてくれているような(笑)。また、その時  
の自分の気持ちや感性もかなり影響していて、去年は何  
も思わなかつた漢字でも今年、ある瞬間にはつと気付く  
こともあります。

#### ——作品全体を通して流れているテーマとは?

「人を元気づける・癒やす」ということでしようか。私が新聞記事に心を打たれ、人を癒やす絵を描き始めようとしていた頃、神戸で展覧会が決まりました。でもその最後の打ち合わせの3日後、阪神大震災が起り、展覧会は中止。半年以上打ち合せに通つた神戸だったのでは、ショックでした。しかし翌年、震災で傷ついた方々を癒やすことのできる展覧会を、どこに頼頑頂きました。それまでは病気を癒やすような気持ちで絵を描いていましたが、その後は被災した方々も含め、もっと広く「人々を癒やす」という気持ちから絵を描くようになりました。感想がぎっしり書き込まれた二千枚ものアンケートには、「あなたの絵を見てほつとしました」という言葉を一番多く戴きました。その時に、ようやく私のすべきことが分かつたと同時に、「ほつ」という言葉を大切にしたい、と思いました。

#### ——お客様の闘病、阪神大震災…さまざま経験を乗り越えて こられたからこそ、温かい絵言葉を描けるのかと思います。

結局、自分がかけられたい言葉を描いている、ということもありますね(笑)。私は早生まれということもあって、子供の頃は何かと遅れがちなところがあり、劣等感

の固まりでした。でも絵を描くと皆が寄つてきてニコニコしてくれました。皆が笑顔の方が私の居心地がいいの、人のためじゃなく自分がほつとしたいから描く、といきたいのが正しいのかもしれません。

私の絵は、辛いことや苦しいことがない人には見ても

らわなくてもいいかなって思うんですよね。普段は元気な人が挫けそうになつた時、頑張れなくなつた時に届くような言葉でありたいと願っています。

#### ——今後はどのような絵を描いていきたいと思われますか。

これまで、子供や大人向けの漫画はありました、シニア向けの漫画でなかつたです。シニア漫画だったら、これから私自身が年齢を重ねていつでも無理なく描き続けることができそうだなって思つたんです。馬鹿笑いするようなものではなくて、「そうそう!」といったような経験を重ねたからこそクスッと笑えるようなものを描きたい。それに漢字や書の絵がぴったりなですね。漢字を絵にすると、捉え方次第で色々な意味になつた。

落のようになることもあって、面白いんです。それでも、もともと書道をしていたわけではないので、漢字を描くのは難しいです。



#### ——「ユーモアセラピスト」と仰るお父様の闘病、阪神大震災…さまざま経験を乗り越えて 救つていらっしゃいますね。

病院からご注文を頂いたり、お見舞いに本を送つてくださいたりという話を聞きます。知らないところで自分の絵が誰かを救つているのかなと思うと、すごく嬉しいですね。

## プロフィール

南 久美子(みなみ くみこ)

京都在住。(公社)日本漫画家協会会員。

ユーモア工房アトリエほつ主宰。  
京都ホテルオーラにて作品を常設中。

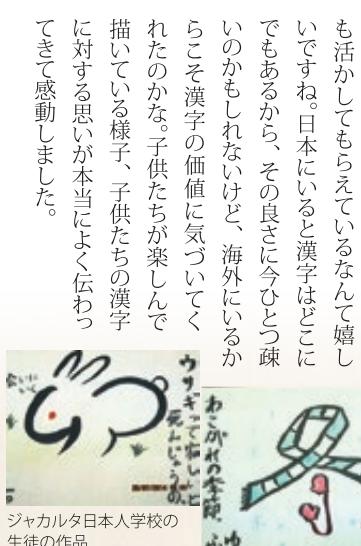
実は以前から石巻にご縁があつて、過去に作品展も開いており、東日本大震災の前年も作品展を開催していました。今は石巻の皆様を元気付けたくて、ボランティアで地元のタウン誌に漫画を掲載しています。

#### ——いろんなところに輪が広がっていますね。

ええ、そのうちに国境まで超えてまいりました! ジャカルタ日本人学校で漢字を題材に絵を描くという取り組みを行つてくださり、子供たちの作品を送つていただきました。自分

の画風がこのようなどころで

も活かしてもらえてるなんて嬉しくですね。日本にいると漢字はどこにでもあるから、その良さに今ひとつ疎いのかもしれないけど、海外にいるからこそ漢字の価値に気づいてくれたのかな。子供たちが楽しんで描いている様子、子供たちの漢字に対する思いが本当によく伝わってきて感動しました。



#### ——ありがとうございました。

# 書籍紹介

## 漢字の歴史 古くて新しい文字の話

ちくまプリマー新書

2014年 笹原宏之著



誕生以来、1500年間中国語だけを書き表していた漢字は、次は1500年をかけて日本語を書き表すため工夫がなされてきた。社会規範や政策、個々人の感性までを反映し、試行錯誤を経て、漢字と日本語という異質な両者が融合してきた。

なんとなく使いこなしだけれど、実際に使いこなすのは難しい漢字。しかしそれが日本人に与えてきた影響は計り知れない。時には悩みの種となつたが、それでも漢字が消えなかつたのは、人々がそれを使うことで何らかの表現意図を込めようとした、また感じ取ろうとする姿勢があつたからつまり、言葉や文字を使うことそのものへの喜びにつながつていただけたと言えます。

大胆な変化が止むことのなかつた漢字の過去は、紛れもなく現在につながつており、その現在もまた歴史の断片である。漢字の過去ばかりに拘るのではなく、自分自身が漢字の維持や変化を担つているということを思い起こしながら「漢字の今」に焦点を置くことも忘れてはならない。

日本語は言語や文字の多様性を理解するためには大変恵まれている。その豊かな言語環境にいながら無関心を決め込むのはもつたいないと筆者は言う。文字や漢字についての基礎的な事項から、文字資料がいかにして残されてきたかに至るまで、辞書やメディアには取り上げられない、いきいきとした漢字の姿を追う。

## 漢字の成り立ち 『説文解字』から最先端の研究まで

2014年 落合淳志著  
紹介者 京都府 田中さん  
筑摩選書

日本においては、戦後、加藤、藤堂、白川の各氏などの方で、字源研究が大きく進展したが、「70年代以降には、古代文字の研究そのものが停滞した」と著者は述べている。私は、これまでの字源研究について、それぞれ体系的に考察されているが、各説のどの部分までが実証的な研究で、どの部分から研究者の想像(非創造)なのか、疑問を抱いていた。本書は、こうした疑問に対し、様々な資料を駆使して「字義」を重視しての実証的重要性を説いている。本書の提起をきっかけに、字源について、新たに活発な論議が始まることを期待したい。

## 辞書になつた男 ケンボー先生と山田先生

2014年 佐々木健著  
文藝春秋  
紹介者 埼玉県 水野さん

小説『舟を編む』とは違つた実話で、編集刀針の違いを巡る確執は実話故にいつそドラマチックである。加えて「田から鱗」の内容が満載である。三省堂から何故2冊の小型国語辞典が出版されているのか。ある辞書が解説を間違えたため、それを真似た日本中の国語辞典の解説が誤りであったという辞書界の破廉恥事件。「広辞苑」がもつとも売れていると思っている人が多いかもしないが、その倍近く売れている辞書があること。監修者・編集者として辞書を権威付けている著名国語学者が実はまったくノータッチの場合があること等々。

## 漢字同好会メンバー! 仲間募集板

連絡される場合は、漢検生涯学習ネットワークの会員通信をご覧になつた旨を必ずお伝えください。

● 愛知県在住、26歳、男です。準一級まで取得。1級を4度落ちましたが諦めず勉強中です。多くの漢検上級合格者と交流したいので、県内外問わず気軽に連絡ください。静岡漢字朋友会の研修会に出席予定。

メール: straight.go0924@gmail.com  
ツイッター: odyssey0924

● 千葉県千葉市緑区在住、男性会社員、58歳です。目下、漢検最高峰1級を目指し、受検勉強中です。

近辺で1級、準1級合格者と、1級合格に向けての勉強方法、情報交換をしたいく既にこのような同好会があれば教えていただきたいです。また、あらたに、緑区「ミニユニティーセンターあたりを拠点として、同好会メンバーを募りたく投稿させていただきました。よろしくお願ひします。

Eメール: yzli-1331@softbank.jp  
石井良和



# 漢字同好会からのお知らせ

全国の漢字同好会の情報は、漢検ホームページからもご覧になります。  
<http://www.kanken.or.jp/project/edification/associations.html>

## 北海道漢字同好会

### 漢字ものしり大会

日 時 ● 平成26年11月23日(日・祝) 13時～16時  
 場 所 ● かでる2・7(710号室)  
 (札幌市中央区北2条西7丁目)  
 内容 ● 漢字と言葉の問題200問に挑戦!  
 参加費 ● 500円(当田徵収)

申込締切日 ● 11月15日(ハガキの場合)は消印有効  
 送付先 ● 〒006-0814 北海道札幌市手稲区前田4条  
 12丁目3-23 菅原方 北海道漢字同好会  
 FAX 011-691-5123

### 特別講演会

日 時 ● 平成26年12月6日(土) 16時～18時  
 場所 ● かでる2・7(1060号室)  
 (札幌市中央区北2条西7丁目)

講師 ● 「日本人は『漢字』をどのように使いこなしてきたのか」  
 東洋文庫研究員・北海道大学名誉教授 石塚晴通氏  
 費用 ● 500円(当田徵収)  
 申込方法 ● 事前の申し込みは必要ありません。直接会場にお越し  
 ください。ご家族・ご友人、どなたでもお誘いください。

日 時 ● 平成26年12月20日(土) 13時～16時  
 場所 ● かでる2・7(730号室)  
 (札幌市中央区北2条西7丁目)  
 容量 ● 1級・準1級・2級の三つのグループに分かれて勉  
 強します。漢検対策がおもな内容です。  
 参加料 ● 無料  
 申込方法 ● 初めて参加される方は前日までに電話でお申し込みください。

お問い合わせ ● 北海道漢字同好会 事務局

TEL/FAX 011-691-5123  
 Eメール kanji0764@nifty.com

## 新潟漢字同好会

### 一般向け講演会

#### 「万葉集と漢字～古代日本語の文字・表記～」

日 時 ● 平成26年11月30日(日) 10時～12時  
 場所 ● コープシステム花園ガレッジ  
 新潟市中央区花園1-12-1

講師 ● 尾山慎氏奈良女子大学准教授  
 講師 ● 無料  
 同好会会員は、返信ハガキにて。  
 その他の方は下記問い合わせ先  
 へご連絡ください。

申込締切日 ● 平成26年11月20日  
 お問い合わせ ● 事務局 太田  
 090-8640-8761

講師 ● 高見よ志子氏  
 講師 ● 無料  
 ハガキ、FAX、またはEメール  
 でお申込みください。  
 (電話での連絡はご遠慮願います。)

申込締切日 ● 平成27年1月10日  
 お問い合わせ ● 〒920-0919 金沢市南町2-1  
 北国新聞会館10階108教室  
 金沢市弥生2-13-6  
 事務局長 宮前外彌旺  
 FAX 076-260-3427  
 Eメール ishikawa-kanji@po5.ns.k.nec.jp

## 石川漢字友の会

### 11月例会・講演会

日 時 ● 平成26年11月30日(日) 13時30分～  
 題目 ● 「歐米に雄飛した加賀サムライ  
 の見聞録」

講師 ● 徳田寿秋氏  
 (元石川県立歴史博物館長)

日 時 ● 平成26年11月15日  
 題目 ● 「平成26年12月21日(日) 13時30分～  
 ビデオ鑑賞

講師 ● 宮前外彌旺氏  
 (元台北・国立故宮博物院／流  
 転の至宝)②秘寶復元／聖徳太  
 子の錦など)

## 新刊発売情報



好評発売中

版型：B6版  
 ページ数：1,984ページ  
 ISBN：978-4-89096-305-8

定価 3,564円  
 (本体3,300円+税8%)

漢検漢字辞典 第二版

待望の改訂版！新常用漢字表に対応！

音訓索引・部首索引・総画索引のほか、  
 テーマ別索引(四字熟語、故事・ことわざ、  
 熟字訓・当て字、同訓異義語)でも引ける。  
 日本漢字能力検定での各漢字の配当級も表示。

### 新年1月例会・講演会

日 時 ● 平成27年1月25日(日) 13時30分～  
 題目 ● 「平家物語に現れる僧兵」

講師 ● 高見よ志子氏

申込締切日 ● 平成27年1月10日  
 お問い合わせ ● 〒920-0919 金沢市南町2-1  
 北国新聞会館10階108教室  
 金沢市弥生2-13-6  
 事務局長 宮前外彌旺  
 FAX 076-260-3427  
 Eメール ishikawa-kanji@po5.ns.k.nec.jp

# 会員通信への 投稿募集中！

会員通信を充実させるため、会員の皆様からの積極的な投稿をお待ちしています。

## ●常時募集

(掲載できない場合もございます)

ご感想・ご投稿をお寄せ頂いた方から5名  
漢検オリジナル消しゴムをプレゼント!!

## 漢字・日本語に関するお薦めの書籍紹介

書名、著者名、出版社名、発行年を明記して、お薦めの理由を250字以内にまとめてお送りください。

- 対象  
平成25年度第2回(10月)～平成26年度第1回(6月)  
の検定で初めて1級に合格された方
- 字数  
項目①～⑤までで500字以内
- 項目  
 ①いつ合格したか  
 ②何回目の挑戦での合格だったか  
 ③合格に向けて工夫したこと(勉強方法等)、励みにならなかったこと  
 ④合格したときの気持ち・感想  
 ⑤今後の目標

## 一級に初めて合格しました！

この一年で、最難関の一級に初めて合格した方の喜びの声と、合格のポイントを紹介します。以下の項目に沿って原稿をお書きください。

## 投稿方法

原稿とともに会員番号、氏名(ペンネームで掲載希望の場合はペンネームも添えること)、電話番号を明記し、郵便・FAX・メールでお送りください。

※Eメールの場合は原稿書式を「Microsoft Word」もしくは「一太郎」とし、添付ファイルでお送りください。

### 締切日

2014年12月19日(金)(協会必着)

### 投稿先

郵送 〒600-8585

京都市下京区烏丸通松原下る五条烏丸町398  
公益財団法人 日本漢字能力検定協会  
漢検生涯学習ネットワーク担当

FAX 075-352-8310

Eメール lifelong@kanken.or.jp

すべての投稿を掲載できるわけではありません。原稿はこちらで一部割愛・校正させていただくことがあります。

子供からお年寄りまで楽しめる面白い漢字パズルを募集します。問題と解答を必ずセットにしてご投稿ください。  
(未発表作品に限ります。)

- 例 ● 漢字クロスワードパズル、子供向け漢字クイズ(学習漢字のみ使用)、難読漢字パズル等

## 漢字に関するパズル・クイズ

「漢字同好会のメンバーを集めたいのだが、どうすればいいか分からない」「同じ県内で一緒に勉強できる仲間がないかな?」といった悩みをお持ちの方はいらっしゃいませんか?研修会内の交流会に参加できない会員の皆さまのご要望に応え、同好会メンバーや仲間の募集板を会員通信内に開設します!募集内容や自己紹介などと、誌面に掲載してもよい連絡先を明記の上、お送りください。

- 例 ● 京都府内で漢字の勉強会をしませんか?一級合格に向けて勉強方法などを共有して高めあえればと思います。

漢検 花子 60才 京都市在住 Eメール : kanken-hanako@xxx.jp

## 「漢字同好会メンバー・仲間」募集板

## 日本漢字能力検定 平成26(2014)年度 個人受検 検定日程

	検定日	申込受付開始日	申込締切日(協会必着)
第3回	平成27年 <b>2月8日(日)</b>	平成26年11月1日(土)	平成27年1月8日(木)

※ただし、書店での申込受付は平成27年1月5日(月)まで  
書店での支払い後、願書の郵送は平成27年1月8日(木)協会必着

- 申込締切日(協会必着)を厳守してください。
- 申込締切日以後に願書が到着した場合や、検定料の支払期限が過ぎた場合は受け付けできません。



公益財団法人 日本漢字能力検定協会 本部 〒600-8585 京都市下京区烏丸通松原下る五条烏丸町398

\*「漢字検定」「漢検」は登録商標です。無断転載・コピー不可。

インターネットで漢検情報を!! 漢検 検索  
<http://www.kanken.or.jp/>



0120-509-315

月～金9:00～17:00(祝日・年末年始を除く)  
※検定日とその前日にあたる土・日は窓口を開設  
※検定日・申込締切日は9:00～18:00

